

製図試験.com 受講ガイド

2026

ver.260107



Cpt.0 はじめに
Cpt.1 製図試験とは何か
Cpt.2 なぜ迷うのか
Cpt.3 製図試験 com の答え
Cpt.4 学びの流れ
Cpt.5 年間スケジュール
Cpt.6 講座体系
Cpt.7 選ばれてきた理由
Cpt.8 スタートに向けて/about us
Cpt.9 受講に当たって
Cat.10 コース費用 (2026 新体系)
Cf:ご利用検討ルートマップ

Cpt.0 はじめに

製図試験に挑む受験生の多くは、すでに十分すぎるほど努力を重ねています。

図面を描き、課題を読み、何度も振り返りながら、この試験と向き合ってきたことでしょう。

その姿勢だけで、胸を張っていいと思っています。

ただ、努力とは裏腹に「迷い」が積み重なっていくことがあります。

読解で迷い、判断で迷い、最後の作図時点でも迷う。

その迷いが、結果に結びつかない“原因”になることも少なくありません。

2026 年の製図試験.com は、この迷いを減らしていくことに、あらためて正面から取り組みます。

判断の流れを整えることによって、プランが安定し、あなた自身の手応えを戻す試みです。

理論を詰め込むでもなく、難しい言葉に縛られるでもなく。

あなたの中にすでにある「判断の力」を整え、流れとしてつなぎ直すという挑戦です。

焦る必要はありません。

比較する必要もありません。

少しずつ、判断の流れをそろえていきましょう。

その積み重ねが、今年あなたを合格へと導いていきます。

Cpt.1 製図試験とは何か（試験の構造）

製図試験は、図面の上手・下手を競う試験ではない、ということは多くの方が感じていると思います。

では、何をみている試験なのか。

この試験の本質は、**判断の順序（プライオリティ）** にあります。

問題文の条件をどう受け取り、それをどの順番で並べ替え、どのタイミングで配置として形にしていくのか。

つまり、条件 → 配置 → 整合

という一連の判断の流れが、きちんとつながっているかどうかを問う試験なのです。

順序が正しければ、図面は自然と整っていきます。

逆に、どこかひとつの判断が前後するだけで、全体が崩れてしまいます。

「読解は合っているはずのに、なぜか配置で迷う」

「配置がまとまったと思ったのに、上下階で噛み合わない」

「形としては描けたのに、最後に迷って破綻する」

こうした現象は、技術不足ではありません。

判断の流れがどこかでねじれているのです。

製図試験.com が 2026 年に最重要視しているのは、まさにこの“流れ”です。

正しい判断が正しい順序で積み上がると、図面は安定し、あなたの迷いも消えていきます。

製図試験とは、「判断を評価する試験」である。

これが最も大事な視点だと位置づけています。

Cpt.2 なぜ迷うのか（受験生がつまずく本質）

多くの受験生は十分すぎるほど学んでいるはずなのに、なぜ迷いが積み重なってしまうのでしょうか。理由は、とてもシンプルです。**判断の順序を乱すような出題になっている試験だから**です。

情報を読み取る段階で迷いが始まる

課題文には多くの条件が書かれています。どれも大切に見えるため、何から扱うべきか分からなくなります。読み取れば読み取るほど、頭の中に情報が増え、方向がぼやけてしまいます。

弱点を補強する順序がつかめない

建築には、崩れやすいポイントがあります。スパン、動線、まとめ方、コア位置…。どこを先に扱えば安定するのが分からず、補強すべき順序が乱れやすくなります。

整合性がとれなくなる

判断を整えようとする順序自体が違っていると、プランが破綻したまま整合性がとれなくなります。

時間がなくなって破綻する

整合性を最後のプランニングで調整しようとして時間が割かれ、成立条件の見直しもできずにタイムアウトとなり、破綻する——というのは、典型的な不合格パターンです。

迷いの原因は、扱うべき順序を整理していないためであり、判断の流れが自然につながる状態へと整えていくこと。それが合格には不可欠だと考えています。

Cpt.3 製図試験.com の答え（判断の軸＝成立／方向）

迷いに対して判断の軸があれば、その状況は整理されるはずです。

ひとつ目は、成立条件（det）

成立条件とは、課題が成り立つために必ずそろえておくべきことです。問題文に書かれていることを、漏れなく・的確に捉えて準備すること。これらを揃えると、答案として「スキのない」プランになります。

ふたつ目は、方向判断（jud）

方向とは、建物の「方向性」を決める視点 “方向判断”です。

方向が定まると、部屋の散らばりが止まり、プラン全体がひとつの考え方でまとまります。

この **成立条件（det）** と **方向判断（jud）** をむやみに混ぜることなく読解すれば、判断の流れは安定し、迷いが小さくなります。

難しい理論を詰め込む必要はありません。語彙も専門的にしすぎる必要はありません。

「外せないもの」と「進む向き」を静かに押さえるだけで、あなたの判断は大きくズレにくくなります。

製図試験.com が作成してきたすべての教材・添削・学習体系は、この二つの視点に集約されます。

あなたが迷わず進めるよう、必要なことだけを丁寧に扱うことを念頭に置きながら、この“軸”をどのように日々の学習に組み込んでいくかを共有していきます。

Cpt.4 学びの流れ（ステップエスキース × 製図試験 LAB × 新添削システム）

製図試験は、判断の順序が整うほど ni 迷いが消えていく試験です。

ここでは、あなたが一年間を迷わず進めるための「学びの流れ」を、ステップエスキースを核として簡約化して説明します。建築の論理を読み取り、組み立て、形にし、自分の判断を見つめ直すことをめざしましょう。

① ステップによる読解

最初のステップは「読解」することです。

ただ課題文を追うのではなく、問題文としての仕組み——成立条件など——を読み取ります。

どこが外せず、どこに重さを置くべきか。

問題文に仕込まれている“問題文の意図”を掴むことが最初の一步になります。

おおよそ 70 分程度かけて、しっかり分析して読解します。

この部分を丁寧に押さえておくと、後の判断がずれにくくなります。

② 3 段階のエスキース

拙著『ステップエスキース』では、エスキースを 3 段階に分けています。

- ・ ゾーニング

部門配置を各階に行うこと、階振り分けをゾーニングと称しています。

- ・ コアゾーニング

ゾーニングされたプランに、コア（階段・EV）＋大空間・吹抜けをゾーニングします。

- ・ コマプランニング

ゾーニング・コアゾーニングでできた骨組みに、暗記したプランを入れ込みます。

エスキースの重要な点は、このプロセスが 3 行程に分かれており、かつそれが一連の流れとして繋がっていることを理解することです。

これは“判断の順序”を体に落とし込むための中心的な作業であり、習熟が必要です。

③ 製図試験 LAB（判断の見える化）

本年度からスタートする製図試験 LAB は、あなたの判断の「傾向」を外から分析するためのデータベースです。

これは、努力しても伸びない原因をそっと可視化する工程です。自分では気づきにくいクセが見えることで、学びが一段階進みます。

④ 新添削システム（判断の整え）

添削は「直す」のではなく、「整える」作業です。

成立条件や方向判断を丁寧に整え、次の課題で正しい判断を再現できることを目標とします。

再現できる判断こそ、合格に最も必要な力です。

Cpt.5 年間スケジュール

製図試験.com年間攻略スケジュール

ver.251212

項目\日程		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	備考		
		前半戦							後半戦					
		ESTEP		公共施設課題			基礎		補強		直前			
		フェーズ1		2			3		4		5			
前半戦	自己分析課題	○										問題文無料公開		
	エスキースESTEP講座		○									合格基礎講座分		
	自己添削講座			○								合格基礎講座分		
	前半戦通信添削3課題				1	2	3					課題配布とオンライン添削あり		
	過去問添削課題				○	○	○					もしくは条件変更課題R		
後半戦・課題発表後	前半戦シンクロ二模試							○				6時間30分一式		
	本年度課題発表											7/27予定		
	オープン課題							○				問題文無料公開		
	夏期講習会							○						
	後半戦通信添削4課題							1	2	3	4	課題配布or課題添削コース		
	通信添削変形課題							R	R	R	R	各課題の条件変更課題R		
	基本問題集								○			3課題を予定		
	過去問添削課題							○	○			本年度課題に応じて設定します		
	シンクロ二模試										○	6時間30分一式		
	総まとめ										○	まとめ資料と解説		
講習	直前まとめ講習会										○	他社分析課題		
	ガイダンス	○						○				何でもお答えします		
	講習（東京・大阪・O/L）			○	○	○	○	○	◎	○	○	○	計13回程度を予定	
	自主ゼミ（東京・大阪・O/L）				○	○	○		○	○	○	○	計8回程度を予定	

製図試験.comのスケジュールは、本試験当日から逆算して考えることを重視しています。

迷いの原因をひとつずつ取り除き、判断の流れを整えていくために、一年を5つのフェーズに分けて進めます。

フェーズ1：基礎期（～3月末） →小さな成功体験を積む期間

- ・det / jud の型づくり ・読解を含むエスキース手順の整理 ・3時間作図の習熟
- ・基礎知識・パーツ（部品）の理解と安定化

建築として外せない「成立条件」と「方向判断」を身体に覚えさせて、迷いが少ない状態の土台をつくります。

フェーズ2：演習期（4～7月） →判断の流れを“実際の課題”の中で育てていく期間

- ・月1の課題トライ（すべてコミュニティセンター） ・LABを使った自己添削 ・添削で判断の調律
- この時期に、判断のクセや迷いやすいポイントが見えるようにします。

答案の出来不出来よりも、「流れがどこで揺れるか」に気づくことを重視し、復習を重ねましょう。

フェーズ3：本試対応期（8月） →本年度課題と真正面から向き合う期間

- ・本年度課題の構造把握と実物見学 ・det → jud の読解精度向上 ・作図スピードと判断の質の底上げ
- 課題の“ポイント”が見え、判断の順序が揺れにくくなります。ここから一気に実力が本番仕様へと近づきます。

フェーズ4：補強期（9月） →弱点を徹底して補強していく期間

- ・弱点補強 ・判断の精度向上 ・パターンの反復による安定化

迷いの残りかすを取り除き、判断の流れをスムーズに揃えていきます。最も伸びるのは、この9月です。

フェーズ5：クーリング期（10月） →本試験直前の「整える」期間

不安で走り込むのではなく、落ち着いて俯瞰し、流れの感覚を最優先にします。

当日に向けて焦燥感を減らし、“置きにいくための落ち着いた判断”を体に戻す時期です。

Cpt.6 講座体系（基礎・教材・添削・通学）

製図試験.comの学習体系は、合格基礎講座 + 3コースで構成されています。

合格基礎講座：読み取り・論理構造

課題を読み取り、成立・方向の土台を整える場所です。ステップエスキースをさらに詳細に解説し、本年度は製図試験 LAB もここで利用しながら、判断が揺れない型を学びます。

1. 教材コース：弱点補強と重心の安定

教材コースでは、添削指導以外のほぼすべてが利用できます。

受験生が迷うポイントに体系的にアプローチし、弱点と重心の揺れを減らしていきます。

2. 添削コース：判断を整える添削

教材に加えて、図面を「直す」ためではなく、判断の流れを整えるための添削を行います。

どこで迷いが生まれたか、どこで方向が揺れたかが明確になり、復習の起点ともなります。

3. 通学コース：直接指導塾

教材に加えて、東京・大阪において直接指導を行います。

初動から整合までをその場で調整し、迷いを減らします。

Cf:学習添削フロー

添削は「直すため」ではなく、あなたの判断の流れを整えるためにを行います。

① 課題に取り組む

軽い作図で十分です。考えすぎず形にしてください。

② 提出

図面郵送もしくは PDF 送信を選択できます。

③ 問題解説

解き方のステップ解説をオンラインで行います。

④ 新添削システム

返却では「判断の揃い・揺れ」が見える形になります。

・直すべき理由 ・det / jud のズレ

・迷いの出た箇所・次にどう整えるか

⑤ まとめ講義

全体の添削内容をオンライン講評で行います。

⑥ 復習

今回の問題を復習し、次の問題での判断を整えます。

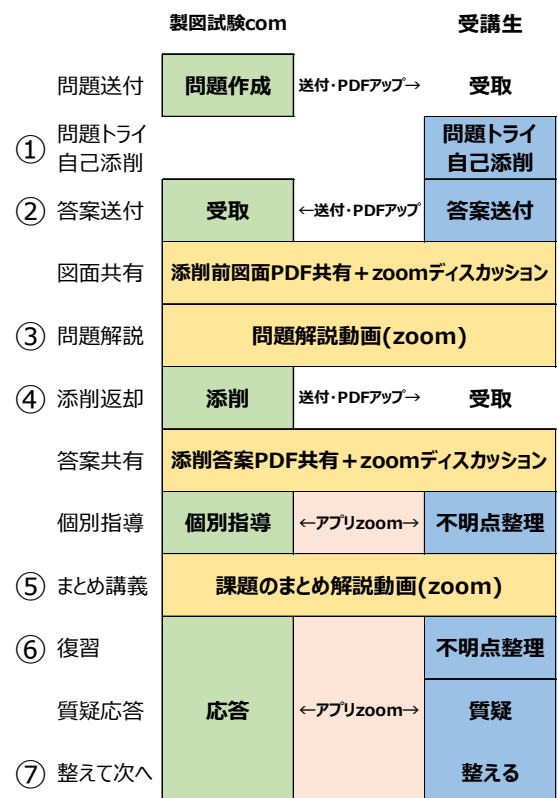
同じミスを撲滅することで、学習の効率を高めます。

⑦ 判断の流れが整う

初動 → 配置 → 作図 の動きがまとまり、

本番での落ち着きにつながります。

※質疑は 24 時間いつでも BAND アプリで可能です。



Cpt.7 製図試験.com が選ばれてきた理由

製図試験.com がこれまで 25 年に渡って、受験生から支持されてきたのには理由があります。
それは、大きな組織でも派手な仕組みでもなく、ただ「本当に必要なものを積み上げてきた」からです。

▶出題者の視点

主催する代表・山口の解説は、「試験を“外側”から見る視点」そのものです。
出題者が何を見ているのか、どういう判断を評価しているのか。
この視点があることで、学びが本番に直結します。

▶全員の解答・添削が共有される集合知

非公開としない限り、全員の解答・添削が閲覧できます。
他受講生の判断が見える環境は、それだけで学びの加速装置になります。
同じ課題でも迷うポイントは違う。その差に気づけるだけで判断の精度は大きく変わります。

▶組織ではない柔軟性

必要な教材をすぐ作り、必要な改善をすぐ行います。
現場の変化や受験生のつまづきに合わせて、最短距離で軌道修正できる“小ささ”が強みです。

▶band / Zoom の即応性

迷いをその日のうちに解消する。判断が揺れた瞬間に立て直す。
オンラインの応答性は、学びの継続に直結します。

▶続けられる価格

途中で諦めなくて済む価格設定であること。
「続けられる環境」は、技術と同じくらい大切です。
これらはすべて、25 年間「実務としての製図試験教育」を続けてきた土台そのものです。
派手ではありませんが、本質だけが残り続けた証だと考えています。

Cpt.8 スタートに向けて

今年は「判断の流れ」を揃えていくこと。
焦らず、急がず、比べず、あなた自身のペースで積み上げていきましょう。
判断が整うと、迷いは自然と減っていきます。
迷いが減ると、あなたの手が本来の力を取り戻します。
すぐに劇的な変化が見えるわけではありません。しかし「なぜか今日は迷わなかった」という日が訪れます。
その積み重ねが、本試験当日のあなたを支えます。
あなたが安心して進めますように。
あなたの製図試験への判断が、きれいに整うことを願っています。

2025 年 12 月 16 日

製図試験.com 代表 山口 達也

Cpt.9 申込みに関する注意事項

製図試験.com のコース及び製図試験 LAB は、製図試験に向き合うための、**考え方や判断の整理を中心に据えた学習環境**です。そのため、一般的な資格講座や、解答や完成図を提示するタイプの学習サービスとは、考え方や進め方が大きく異なります。お申込みにあたっては、以下の点について、あらかじめご確認ください。

・合格について

残念ながら、本講座は合格を保証するものではありません。製図試験.com では、可否そのものよりも、なぜその判断に至ったのか、どこで迷い、どこで整理が必要だったのか、といった判断の過程を整えることを重視しています。

結果として合格に近づくことはありますが、短期間での成果や、特定の結果を約束するものではありません。

・学習内容について

本講座では、エスキース解題、解答例、解説動画を含む製図試験 LAB において、暗記する重要性は認識していますが、暗記することを目的とはしていません。

どこを先に整えるのか、どこから判断してよいのか、どの段階で迷いが生じやすいのか、といった考え方の整理と判断の順序を扱います。そのため従来の学習スタイルの方には合わない可能性があります。

・学習の進め方と成果について

学習の進度や成果には、個人差があります。

同じ内容を扱っていても、整理に時間がかかる方、試行錯誤を重ねる方など、進み方はさまざまです。

製図試験 LAB では、学びにおいて、他者との比較や競争を前提としていません。

自分自身の判断が、少しずつ安定し完成していくことを、学びの指標としています。

・内容の変更について

講座内容や運営方法については、試験制度の変更や、学習環境の改善を目的として、年度途中で一部調整される場合があります。いずれも、より良い学習環境を維持するためのものです。

・返金・途中解約について

本講座では、諸般の事情による途中解約による返金は設けています。合格基礎講座分を除いた課題の進捗状況にあわせて、残金を返金いたします。ただし課題などを行わないまま、提出していない分の返金はありません。

時間経過語に後からの返金はできませんので、諸般の事情発生に伴い、随時速やかにご相談ください。

・カード決済・分割払いについて

本講座のお支払いについては、カード情報の保管をしたくないため、銀行振込による先払い決済のみを採用しており、カードや電子決済は利用できません。

代わりに分割払いは受け付けています。条件としては、前半戦後半戦の2回払いは手数料なしで、3回払い以上になる場合は、1回毎に手数料1,000円が必要になります。また分割支払いは9月30日までに全額支払うこととしていますのでご注意ください。

最後に

製図試験 LAB は、「学び方を整えること」に価値を感じられる方と、長く向き合うことを前提としています。

内容に納得いただいた方は **製図試験.comSTORE** (<https://seizushiken.com/welcart>) からお申し込みください。

Cpt.10 コース費用 (2026 新体系)

2026 年度の製図試験.com は、あなたの生活と歩幅に無理なく合わせられるよう、受講体系を新しく整えました。
ここでは「どのコースを選べばよいか」を判断できるよう、必要な情報だけをまとめています。(すべて税込価格)

コース	項目	基礎講座	教材前半戦	教材後半戦	前半戦添削	後半戦添削	前半戦通学	後半戦通学	費用税込	既添削生費用税込	備考
通期(前半戦+後半戦)											
	製図試験.com基礎講座								38,000		合格基礎講座
	教材コース1(基礎講座込)								165,000	135,000	教材のみ添削なし
	オンライン添削コース2								319,000	279,000	教材・添削込
	通学コース3(東京・大阪)								429,000	379,000	通学10回込自主ゼミあり
後半戦のみ											
	製図試験.com基礎講座								—	—	必須
	教材コース1								110,000	95,000	教材のみ添削なし
	オンライン添削コース2								210,000	190,000	教材・添削込
	通学コース3(東京・大阪)								310,000	280,000	通学5回・自主ゼミ5回込

* PDFのみの場合さらに通期1万5千円引・後半のみ1万円引

合格基礎講座 38,000 円 (各コース費用に含む)

判断の土台づくり。全員がまずここからスタートします。エスキース・自己添削・パーツビルドアップの基礎を行います。

教材コース 165,000 円 (過去添削生 135,500 円) 合格基礎講座含む

全課題 (前半戦 8 課題 + 過去問、後半戦 10 課題 + 問題集 4 課題)

製図試験 LAB (データベース) zoom/BAND 参加 課題分析帖 パーツ集 Udemy

自分のペースで進めたい方の独習コースです。添削以外の全教材が含まれています。

オンライン添削コース 319,000 円 (過去添削生 279,000 円)

教材コースに、添削が前半戦・後半戦それぞれに 10 回系 20 回分の付属しているコースです。

判断を調律しながら、迷いの根を取り除いていく標準コースとしています。

通学コース 429,000 円 (過去添削生 379,000 円)

対面で通学し、判断を整えたい方に、初動から作図まで、その場で学んでいきます。(別紙詳細日程予定あり)

新サービス (概要)

・製図試験 LAB (判断の見える化を強化)

→エスキースステップ、ルールブック、ミス集、パーツ集、過去問アーカイブを作成中です。

・新添削システム (判断フローに沿った添削へ)

→マイページを予定しています (準備中)。詳細は順次公開いたします。

・コースには 1 月末までは早期割引 (1 万円)、

・用紙以外の全資料を PDF 送付のみとする PDF 割 (通期 15,000 円、後半のみ 10,000 円) があります。

2026年度（R07）製図試験.comスケジュール（予定）

2025/12/27

Term	NO	カリキュラム	O/L大阪（土）	東京（日）	山口	全体予定・備考		
前半戦	基礎講座	O/L	ガイダンスセミナー・個別相談		1月4日～	O/L	動画配信・オンライン面談予定	
		O/L	学習レベル課題公開		1月9日	O/L	レベル把握用・問題文公開予定	
		JBS	自己分析課題講習	1月24日	1月18日	○	ガイダンスも含めた講習	
		O/L	エスキース学習スタート	2月4日		O/L	動画配信＋個別対応	
		feb	2月講習	2月14日	2月15日	○	ステップエスキース1日講習	
		O/L	自己添削学習スタート	3月3日		O/L	動画配信＋個別対応	
		mar	3月講習	3月14日	3月15日	○	セルフ添削1日講習	
		■	製図試験申し込み					
	公共施設課題	1	第1課題トライ	4月4日	4月5日	*	コミュニティ施設課題 1	
		1w	第1課題講習	4月18日	4月19日	○	同課題の講習	
		2	第2課題トライ	5月2日	5月3日	*	コミュニティ施設課題 2	
		2w	第2課題講習	5月16日	5月17日	○	同課題の講習	
		3	第3課題トライ	5月30日	5月31日	*	コミュニティ施設課題 3	
		3w	第3課題講習	6月13日	6月14日	○	同課題の講習	
		4	前半戦シンクロニ模試	7月4日	7月5日	○	コミュニティ施設課題模試	
		■	学科試験	7月26日			課題発表は7月25日予定	
	後半戦	基礎構築	O/L	オープン課題（課題発表）		7月24日	O/L	本年度課題を当日配信
			O/L	課題解説ガイダンス		7月27日	7月28日	○
1			第1課題トライ	8月1日	8月2日	*	当日振り返り予定	
☆			本年度課題分析帖発送	8月7日オンラインデータ		－	紙ベースは8月15日予定	
1R			夏期講習会	8月8-9日	8月13-4日	◎	1日目エスキース・2日目作図	
2			第2課題トライ	8月15日	8月16日	*	当日振り返り予定	
2R			第2課題講習	8月22日	8月23日	○	同課題の講習＋演習	
☆			基本問題集発送	8月26日予定		－	3－4問の予定	
3			第3課題トライ	8月29日	8月30日	*	当日振り返り予定	
■			学科試験合格発表	9月3日		■	学科不合格者返金	
☆			本年度パーツ集発送	9月4日予定		－	20ページ程度	
弱点補強		3R	第3課題講習	9月5日	9月6日	○	同課題の講習＋演習	
		4	第4課題トライ	9月12日	9月13日	*	当日振り返り予定	
		4R	第4課題講習	9月19日	9月20日	○	同課題の講習＋演習	
		5	後半戦シンクロニ模試	9月26日	9月27日	○	直前講習会あり	
			直前まとめ	10月3日	10月4日	○	最終確認	
直前		6	直前まとめ課題＋まとめ資料	10月7日（水）		O/L	資料送付＋解説	
		■	製図試験	10月11日		■	当日に速報予定	

後半戦は4課題＋変形4課題＋模試＋オープン課題＋基本問題集3課題＋直前まとめ課題

↑○山口参加、*自主ゼミ、O/Lオンライン山口参加

課題数が足りない方は別途個別対応として課題を用意します。

上記は全て予定ですので、日程や内容を変更することもあります。

※：前半戦は隔週、後半戦は毎週出題します。■JAEIC◇製図試験com 番号課題NO
※：添削は前半10課題分、後半10課題分まで行います。11枚目以降は別途受付します。
※：日曜日ベースで作成していますが、金曜日までに課題は郵送予定です。
※1：前半戦は公共施設としてコミュニティセンターのみで基礎を固めます。

製図試験.com (<https://seizushiken.com>)

運 営：有限会社 I.L.D.教育事業部

大阪事務局

〒554-0012

大阪市此花区西九条 2-7-8 田丸ビル 3 階

電話 06-7181-3701 FAX 廃止

メール：guchi@seizushiken.com

本年度大阪講習会場を別途借りる可能性あり。



東京講習会場

〒101-0042

東京都千代田区神田東松下町 33

COMS HOUSE 2F としまち研 会議室



指定金融機関

① アイエルディ Paypay 銀行 すずめ支店 普通 3175127

ゆうちょ銀行 ○九九店 当座 0222802 郵便振替：00970-2-222802

代表：山口 達也（ハンドルネーム：曽根 徹）

1962 年 11 月 26 日生

大阪工業大学建築学科都市計画研究室

神戸大学環境計画学専攻、工学修士（早川和男研究室）

阪神電鉄就職後、レンゾピアノビルディングワークショップに転職。

都市計画コンサルタント、経営コンサルタント、CM 会社等を経て、

有限会社 I.L.D.を設立。セルフビルディング中心に設計活動の傍ら、

2000 年に製図試験.com の前進である「学科製図.com」を設立。

25 年間で 3,000 名以上の一級建築士を輩出。

2015 年コンテンツをまとめなおし、「製図試験.com」を立ち上げ。

一級建築士設計製図試験だけに特化したしくみを開始。

業界初のオンライン添削・ZOOM ウェビナーを開始。

2025 年まで阪南大学非常勤講師

2026 年より AI を導入し、製図試験 LAB 開設



このテキストは 2025/12/12 現在のものです。コンテンツの無断利用は固く禁じます。

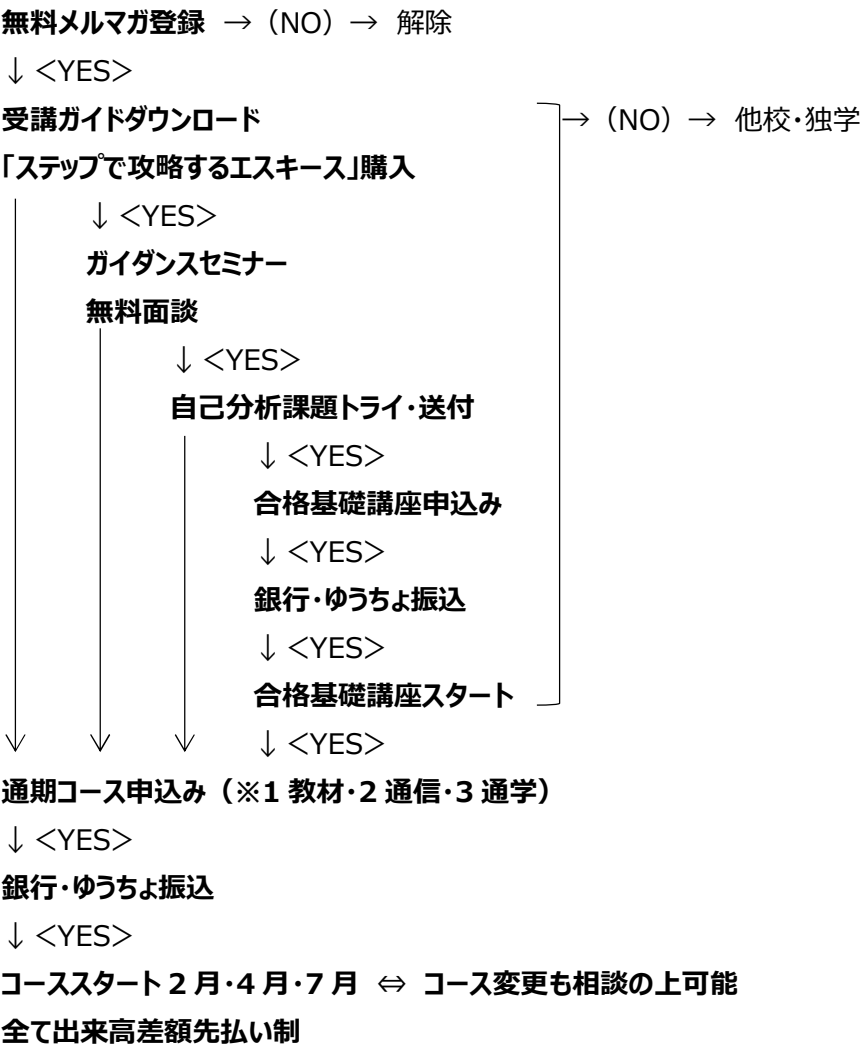
Copyright ©製図試験.com All rights reserved.

修正事項

251228 版：P9 日程修正 1/24 東京→1/18 に変更

製図試験 com 利用検討ルートマップ

製図試験 com には何段階もの利用ルートがあります。わかりにくいということで
ルートマップを作成しました。不明な点はいつでもご質問ください。



すべての情報はメルマガで配信します

気に入ったら受講ガイドを御覧ください
またテキストのご購入をオススメします

ガイダンスセミナーオンラインで配信
面談はいつでも受け付けています

自己分析のための課題を公開

エスキースと添削の基礎を学ぶ
合格基礎講座があります。
<先払い制>

2 月 3 月に行いますが
アーカイブ作ります。

利用してみようという方は
コース 1/2/3 をご検討ください。
途中で変更、解約、追加可能で
全て出来高・差額処理します

※コースの違い 1 教材・2 通信・3 通学

コース 1：教材コース
合格基礎講座・作図用紙・テキスト・パーツ集を含むすべての教材、動画、メンバーズサイトが含まれています。

コース 2：オンラインコース
合格基礎講座・作図用紙・テキスト・パーツ集を含むすべての教材、動画、メンバーズサイトに加えて、
前半・後半各 10 回分の添削が含まれています。

コース 3：通学コース（東京・大阪のみ）
作図用紙・テキスト・パーツ集を含むすべての教材、動画、メンバーズサイトに加えて、
無制限の添削と、前半戦隔週、後半戦毎週の講習 + 自主ゼミが含まれています。

最もコストパフォーマンスが高いです

メインのコースです

人数には上限があります。